令和３年度第２回山陽小野田市人権教育推進協議会　議事録

○　日　　時　令和３年１１月１５日(月)　午後２時から午後４時まで

○　場　　所　厚狭公民館　２階　第１研修室

○　出席委員　浜崎　洋子委員、間惠　満貴委員　大池　浩三委員、齊藤　英一郎委員、
佐近　寛子委員、杉本　善行委員、荒木　幸雄委員、村田　茂輝委員、
平野　唯男委員、中村　良臣委員、大場　清春委員、三井　　清委員、
冨永　　晉委員、藤井　慎一委員、草田　和枝委員、荒川　英良委員、
中村　尚子委員、西岡　フミエ委員

○　事務局及び出席者
社会教育課　　３名（舩林課長、來嶋係長、縄田主事）
市民活動推進課　３名（河上課長、藤永係長、増本主任主事）

○　会議次第
１　社会教育課長あいさつ
２　協議
（１）ヒューマンフェスタさんようおのだについて
（２）令和３年度山陽小野田市人権講座について
（３）令和３年度人権に関する作品募集（標語・ポスター）について
（４）その他
３　事務連絡
・第３回人権教育推進協議会について

事務局　改めまして皆さんこんにちは。社会教育課の來嶋と申します。本日はお集まりいただきありがとうございます。ただ今より、令和３年度第２回山陽小野田市人権教育推進協議会を開催します。
早速ですが、社会教育課長より御挨拶申し上げます。

＜課長挨拶＞

引き続きまして、大池会長より、一言御挨拶をいただきます。

＜会長挨拶＞

ありがとうございました。それでは、これからの議事進行につきましては、大池会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

会長　はい、協議に移ります。要項をお開きください。そこに協議内容が記載してあります。これに沿って協議を進めてまいります。議題１「ヒューマンフェスタさんようおのだ～人権を考える集い～」について市民活動推進課、社会教育課より説明をお願いいたします。

事務局　市民活動推進課です。よろしくお願いいたします。資料の議題１を御覧ください。先ほど社会教育課長からもありましたが、ヒューマンフェスタにつきましては当初予定をしておりました１２月４日（土）での開催が難しい状況です。しかしながら、人権について考える貴重な機会ということで、本事業につきましては何とか実施をしたいと考えておりまして、例年並みとは言えませんが、規模を縮小し、Zoomによるオンラインでの開催を計画いたしました。日程は来年1月１５日（土）１４：００～１６：００まで。厚狭地区複合施設を会場に考えております。インターネット配信を行いますので、御自宅や職場等での視聴も可能ですし、通信環境が整わない方については会場で直接御覧いただくことも可能です。会場参加を御希望される方については手指消毒、検温等に御協力いただき、感染症対策のため、定員を４０名程度と設定をしております。オンライン参加の場合は１００名の参加が対応可能となります。内容につきましては、人権に関する作品コンクールの受賞作品の紹介、外部講師による講演会の二本立てを考えております。このうち、人権作品コンテストは宇部法務局の管轄になりますので、現在詳細を確認中でございます。例年のコンクールにつきましては、後程説明がありますので、ここでは省略させていただきます。
講演につきましては、今年度は社会教育課の支援により、広島県原爆被害者団体協議会の箕牧理事長代行よりお話しいただけることになりました。当協議会は本市とのつながりが深い団体でありまして、毎年市内の学校で開催されております平和のつどいにおいて、長らく講演を引き受けていただいております。
今回は県外からのオンライン参加となりますので、会場参加の皆さんは、会場

内に設置するスクリーンで講演を視聴していただく形となります。
資料にタイムスケジュールを載せておりますが、１３時３０分に開場し、１４時より開会行事、人権作品の紹介、１４時４０分より箕牧先生の御講演としております。最後に会長様に謝辞をいただきまして、概ね１６時の終了を考えております。なお、例年ですとフェスタ後に人権作品の展示をしておりましたが、こちらはフェスタとは別に、市役所ロビーや各公民館等で展示をしていく予定としております。
続きまして、周知方法についてですが、チラシ等の準備が出来ましたら、１２月の班回覧、広報等を通じて地域にお知らせしていきたいと考えております。オンライン開催ということで、資料に掲載している機関のほか、民生委員さんや保護司さんも所管課を通じて声掛けをする予定としております。皆様におかれましては、大変お手数をおかけいたしますが、各地域で３名の御参加をお願いしたいと考えております。今月中には皆様にチラシをお送りしたいと考えておりますので、地域で集まる機会等ございましたら、紹介いただけると幸いです。なお、申込期限は来年の１月１０日を期限としております。皆様にお願いする３名につきましては、ネットでの視聴、会場での視聴、どちらでの御参加でも構いません。これからお願いの文書を送付させていただきますので、御協力の程よろしくお願いいたします。

事務局　次に委員の皆様の役割分担についてお話します。「ヒューマンフェスタさんようおのだ」は山陽小野田市、教育委員会、人権教育推進協議会の３者主催となっております。例年、委員の皆様にはそれぞれの地区や団体の受付とフェスタの準備や片付け等、御協力いただいております。しかしながら、本年度は、オンラインと対面のハイブリッド形式のため、例年のように会場に大人数が集まるということはありません。ですが、この委員の方の中で会場視聴される方がいましたら、御協力を是非お願いをしたいと思います。詳しい分担等の説明は当日会場でさせていただきます。御都合つきましたら、よろしくお願いいたします。
なお、当日は各自でお昼を済まされ、１３時に御集合をお願いします。日が近づきましたら改めて詳細について御連絡いたします。

事務局　続いて、先ほど話がありましたコンクール、表彰についてです。コロナウイルスの感染が低年齢化している中、表彰とはいえ児童生徒を会場に呼ぶことは難しいのではないかと考えています。特に進路に関わる学年の児童生徒は大変重要な時期にさしかかっていますので、特段の配慮が必要と思われます。
提案ですが、表彰に関しては、ヒューマンフェスタ内での開催ではなく、１２月のうちに市職員が学校に出向き、それぞれの学校で表彰をさせていただくとうふうに考えております。賞状や記念品を授与した後に、表彰者から優秀作品の思いや工夫したところを聞き取り、１月１５日のヒューマンフェスタ内で優秀作品の紹介とさせていただきたいと考えております。

以上、ヒューマンフェスタに関する業務についてと表彰の形式についての御提案です。以上です。

委員長　はい、今年度のヒューマンフェスタについての御説明でしたが、何か御意見・御質問がございますか。

委員　オンラインは各公民館でも開催されるのですか。各公民館でもオンラインの視聴はできるのですか。それとも厚狭公民館だけでの視聴になりますか。

事務局　オンラインの各公民館での開催については検討いたしましたが、現在公民館にインターネット環境が整備されておりません。従いまして、今回については大変申し訳ありませんが、こちらの厚狭公民館もしくは御自宅での視聴でお願いできたらと思います。

委員　３名ほど出さなければいけませんよね。これは氏名を連絡するようになるのですか。

事務局　先程文書にてお願いをさせていただくと申し上げましたが、この中に出席者名簿を添付したいというふうに考えております。つきましては、お名前、視聴方法を御記入いただいて御提出いただきたいと考えております。

委員　昨年も募集をかけるのが我々なのか、ふるさとづくり協議会や自治会なのかと直前で二転三転した経緯があるのですが、結局我々委員が人数を募るということになったということですか。

事務局　はい、基本的には委員さんに働きかけをしていただいて、人数を集めていただければと思いますが、その細かい手法についてはまたその地区の環境があろうかと思います。そのあたりはお任せをしたいと思います。しかしながら、委員さんが主体となって動員をお願いできたらと思います。

委員　自治会には市の方から働きかけはしないということでよろしいですか。

事務局　はい、市の方から自治会にお願いする予定はありません。

委員長　他にはよろしいですか。それでは今年度のヒューマンフェスタにつきましては以上のように決定させていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、議題２「『令和３年度山陽小野田市人権講座』について」です。市民活動推進課から説明をお願いします。

事務局　はい、続いて資料の議題２のページを御覧ください。
前回の協議会では、秋頃を目安にと考えておりましたが、この度、１月下旬～２月上旬で計画をさせていただきました。ヒューマンフェスタの翌週からというイメージです。具体的な日程は、現在調整中のため、資料にはおおむねの開催時期を掲載しておりますが、会場や講師の都合がつき次第、速やかに皆さまに御連絡を差し上げます。日中の開催を１回としておりますが、季節のことを考えますと、もう少し日中の開催を増やしてもよいかもしれないと考えております。
テーマにつきましては、過去の開催状況やアンケート等を参考にしながら、設定しますが、よりよい生き方や自己肯定感等、人権全般につながる話題も取り上げる予定としております。皆様方から御意見等がございましたら、後程参考にさせていただければ大変幸せます。
人権講座につきましても、ある程度、小規模化した上での実施となりますが、こちらもオンライン開催を含めて検討しております。施設によって通信環境も異なりますので、すべての会をオンライン化することはできないかもしれませんが、資料の「その他」に記載をしておりますとおり、感染症の状況によっては開催形式オンライン開催のみとするなどの可能性もございます。御理解の程よろしくお願いいたします。
最後に周知でございますが、１２月初旬には皆様方にお知らせできるよう進めてまいりたいと考えております。感染症対策のため、定員を設定しますので、会場となる施設にもよりますが、各回３０～４０名程度になろうかと考えております。その他ヒューマンフェスタと同様に幅広く関係機関に情報提供と参加のお願いをさせていただきたいという風に考えております。委員の皆様も可能な限り御参加いただきますよう重ねてお願い申し上げます。今年度、会場のみの開催とする会、オンラインと会場の並行開催の会がありますが、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた新しい人権講座の形として、様々な手法を取り入れていきたいと考えております。幅広い世代の御参加がいただけるよう、周知に努めてまいりますので、委員の皆様の御協力の程よろしくお願いいたします。以上です。

委員長　「山陽小野田市人権講座」について御説明がございましたが、御意見・御質問がございますか。
テーマにつきましては、よりよい生き方や自己肯定感が上がっておりますが、その他の御意見がございましたら、お願いいたします。
よろしいでしょうか。それでは、御説明のとおり決定させていただきます。よろしくお願いいたします。

議題３「令和３年度人権に関する作品募集」について社会教育課から説明をお願いします。

事務局　はい、失礼いたします。今年度の人権に関する作品募集について報告いたします。
５ページを御覧下さい。今年度の応募は標語が小・中・高校児童生徒３５９点、一般の部において、１０点の３６９点でした。ポスターは１７点で総数３８６点の応募となりました。標語につきましては、今年度は小中高からの申込が激減いたしましたが、考えられる理由としては学校によって学年の児童生徒全員に宿題として出される学校が時々ありますので、学校で２００点の応募がある場合もありますが、今年はそのようなことがなかったので、大きく数が減ったと思われます。今後の検討課題にしたいと思っています。ただ、一般の部に関しましては、数が増えております。ポスターについても昨年度より増えたものの、例年より少ない応募でしたので、事業の意図をしっかりと伝える必要があるなというふうに考えております。多くの児童生徒が人権について考えるきっかけにしていきたいと考えています。

続いて、作品選考についての説明をさせて頂きます。標語は、各学校で第１次審査、第２次審査として市民活動推進課、社会教育課で選定をしています。この後委員の皆様に第３次審査として、作品の中から、小中学校の部、高校・一般の部で優秀作品を１点ずつ選出していただきます。
ポスターは、今、後ろと前に掲示しておりますが、後ほど時間を取りまして、応募された作品を御覧いただいてから、審査の方をお願いしたいと考えております。

委員長　作品選考について社会教育課より説明がありました。御意見等ございましたらよろしくお願いします。よろしいでしょうか。
では、作品選考に入りたいと思います。事務局で進行をお願いいたします。

事務局　それではまず標語の選考を行いたいと思います。皆様のお手元に別冊の資料があると思います。こちらの資料を使って、審査をお願いしたいと思います。
選考は最終的には小中学校の部で１点、高校・一般の部で１点という形にしますが、まずは上位３点を選びます。今から３分時間をとりますので、小中学校の部３点、高校・一般の部３点の御選定をよろしくお願いいたします。
よろしいでしょうか。挙手により選定しますので、お一人３回手を挙げてください。
＜選定・集計＞
それでは小中学校の部を選定していただきました。上位３点をお伝えさせていただきます。
＜上位３点の発表＞
この３点に絞ります。この中から１点を選びます。どれがよいかお考えください。少しお時間取ります。
では、１回のみ挙手をお願いいたします。

＜選定・集計＞
それでは御報告いたします。今年度の小中学校の部の標語優秀賞は１３番「手をとって　みんなでつながる　スマイルシティ」に決定いたします。この優秀作品をつくられたのは、厚陽中学校３年生竹谷唯さんです。みなさん拍手をお願いいたします。
高校・一般の部に移りたいと思います。先ほどと同じ形式で選定させていただきます。時間を３分取りますので、御検討をお願いいたします。
それでは、先程と同じように進めさせていただきます。３点ほど挙手をお願いいたします。
＜選定・集計＞
お待たせいたしました。それでは上位３点をお伝えさせていただきます。
＜上位３点の発表＞
この３点に絞ります。この中から１点を選びます。どれがよいかお考えください。少しお時間取ります。
それでは、決定していきたいと思います。
＜選定・集計＞
はい、お待たせいたしました。今年度の高校・一般の部の標語優秀賞は８番「思いやりは　絆づくりの　第一歩」としたいと思います。この優秀作品の作者は一般からの応募で、茅壁豊様です。おめでとうございます。拍手をお願いします。
ありがとうございました。それでは標語の部はここで終了し、続きまして、ポスターの選考に移ります。先ほども申し上げましたが、ポスターの方は細かい描写や、言葉等をしっかり見ていただきたいと思いますので、このあと、休憩も兼ねて、じっくり審査の方をお願いします。ポスターの審査用紙は今持っていらっしゃる標語の審査用紙の３枚目の方に表があると思います。こちらの方に小学校の部は１２点の応募がありましたので、1番から１２番の中から３点、中学校は２点、高等学校は３点のみですので、1 点のみ選ぶという形でお願いします。それでは一旦休憩に入ります。
＜休憩＞
時間になりましたので、再開させていただきます。ポスターの審査に移ります。標語の選考と同じように番号を読み上げますので、小学校の部については３点に挙手をお願いいたします。最終的に１点を選びます。
＜選定・集計＞
それでは、お待たせいたしました。それでは上位３点をお伝えさせていただきます。
＜上位３点の発表＞
それでは審査に移ります。１点のみに挙手をお願いいたします。
＜選定・集計＞
２点が同数となりましたので、この２点でもう一度選定を行います。
＜選定・集計＞

それでは「私が笑うとみんなが笑う」に決定したいと思います。おめでとうございます。この作品を描かれましたのは、高千帆小学校２年生内田咲奈さんです。拍手をお願いします。ありがとうございます。
続きまして中学校も選定をしていただきたいと思います。
＜選定・集計＞
中学校の部ですが、この作品の作者は厚陽中学校２年生の末永里菜さんです。おめでとうございます。拍手をお願いします。
それでは最後に高校の部に移ります。こちらは応募数が３点あります。１点のみということでお願いします。
＜選定・集計＞
それでは高校の部の優秀作品はサビエル高校１年生松本光希さんに決定いたしました。拍手をお願いします。
それでは、標語、ポスターの審査は以上にしたいと思います。この標語２作品、ポスター３作品は、市民啓発用に活用させていただきたいと考えております。
御協力の程ありがとうございました。以上で作品選考を終わります。

委員長　それでは、その他に入ります。委員の皆様から全体を通して御意見等ございましたら、お願いします。

委員　はい、すみません。確認です。議題１「ヒューマンフェスタさんようおのだ～人権を考える集い～」は、先程の御説明がありましたが、大体目安としていつ頃我々のところに文書等が届くのでしょうか。というのは、役員会議の関係でそれに合わせて行いたいと思いますので、よろしくお願いします。

事務局　今月中にお送りさせていただきたいと考えております。

委員長　その他よろしいでしょうか。

委員　はい、この協議会を１日と１５日を外して開催していただきたいと思います。この日は自治会便がありますので、できれば１日と１５日を外して開催していただきたいと思います。

事務局　自治会長様が各委員を兼ねている場合が多いと思います。私たちの配慮が足りなかったという風に反省をしております。今後できる限り、この１日と１５日を避けた形で調整をさせていただこうと思います。ありがとうございます。

委員長　その他よろしいでしょうか。皆様のおかげでスムーズな議事、進行をすることが出来ました。ありがとうございました。それでは、事務局の方にお返しします。

事務局　大池会長様、草田副会長様、どうもありがとうございました。それでは事務連絡の方に移ります。

事務連絡は１点のみです。第３回人権教育推進協議会の会議ですが、例年で行くと２月の開催になります。今年度も２月を計画して、御案内を後日お送りいたします。次回の会議は「ヒューマンフェスタさんようおのだ」の振り返りと来年度に向けての協議となります。

それでは、第２回人権教育推進協議会のすべてを終了いたします。どうもありがとうございました。